

システム設計セミナー

ソフトウェアとハードウェアとの界面設計ができます

データフロー図

ドメインDFDで本質へ
シグナルDFDで回路へ

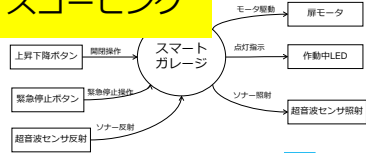
アーキテクチャ設計

構造設計で俯瞰
動的構造で時間

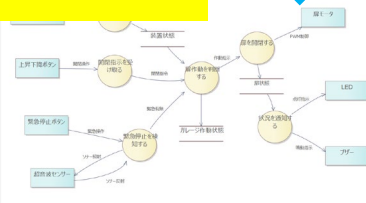
界面定義

ソフトハードの界面と
インタフェース定義

スコーピング

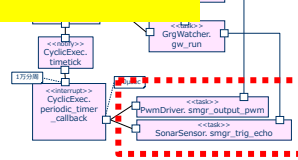


ドメインDFD



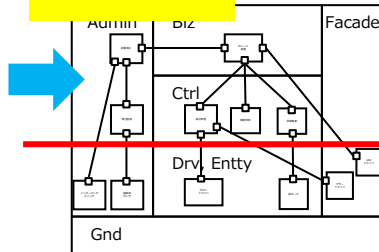
ソフト開発

動的構造図



ハード化
すべき箇所

静的構造図

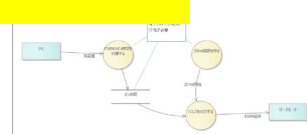


界面トレードオフ分析

パターン	作成容易性	性能実現性	検証容易性	保守性	安全性
1. 単一機能ブロックで内部処理をすべてPGMCに実装	◎	◎	◎	◎	×
2. 単一機能ブロックと外部機能ブロックをPGMCに実装	◎	◎	◎	○	×
3. ドライバ機能をすべてPGMCに実装	△	◎	△	△	○
4. 単一機能ブロックと外部機能ブロックをすべてPGMCに実装	×	◎	×	△	○
5. 単一機能ブロックと外部機能ブロックをすべてPGMCに実装	◎	◎	◎	○	△
6. 単一機能ブロックと外部機能ブロックをすべてPGMCに実装	◎	◎	◎	○	△

界面

シグナルDFD



DFD : データフローダイアグラム

ハード開発

2日間コース

コース概要	システム設計することでソフトとハードの界面を定めます。界面ごとのトレードオフを深堀します。
特徴	システムを俯瞰する図面を作り、ソフトとハードの界面を定めます。DFD分析を構造設計とタイミング設計のインプットとします。複数の界面を想定したトレードオフ分析で、現実解を探ります。
到達目標	本講座では、次のことを目標としています。 1. 問題ドメインの本質を分析できる (ドメインDFD) 2. ソフトとハードの界面を決めてインタフェース定義ができる 3. システム構造図からハード化すべき箇所を識別できる 4. タイミング設計の分析ができる (シグナルDFD)

形態	人数	価格
集合研修	12名まで	160万円
オープン開催	1名	16万円
前提条件	C言語の経験があることが望ましい ビット操作や論理演算に触れたことがあること	